

優秀賞

しあわせとは

荒川区立峡田小学校 三年

中しま ももな

やなぎ田せんせい、こんにちは。やなぎ田先生
にとってのしあわせは、どんなことですか。私に
とってのしあわせは、この本を読んで気づきまし
た。この本のしゅじんこうはチルチルとミチルで
す。しあわせの青い鳥をさがして、いろいろな国
をたずね歩きました。でもどこにも青い鳥はいま
せんでした。

さいきんニュースで、地しんや台風によるひが
いをききます。地しんでは家がつぶれたり火じに
なってしまったりします。台風では川の水があふ
れて家ごとながされてしまったりとてもこわいこ

とがおこっています。りょうほうともすむ所がな
くなってしまうい、ひなんじよで生活するしかあり
ません。何もなくなってしまうこまっている人が
大ぜいいます。けれど、とおくからボランティア
活動としてたすけに来てくれる人がいます。私も
地いきの少ぼうしょう年だんに一年生の時から入
だんして活動しています。しょう火のしかたなど
教えてもらっています。これから少しでもやくに
たてたらうれしいです。

チルチルとミチルは兄妹です。私もお兄ちゃん
がいます。私にとってのしあわせはあたりまえの
ように朝おきてごはんを食べて、学校に行きなら
いごとをさせてくれるりょう親にかんしゃし、家
ぞくといっしょうようにけんこうでくらしですごせて
いることが一番のしあわせだということに気づか

されました。チルチルとミチルの家には、きじばとをかっていました。二人はさいごにその鳥がしあわせな青い鳥だということに気づきました。ずーっとまえから自分の家にいたんだと。私はこのばめんで、しあわせとはふつうにくらせることだと気づきました。この本はしあわせを気づかせてくれる本なのでやなぎ田先生も読んでみてください。い。

きっとしあわせな気持ちになれると思います。